

モンゴル人材紹介 庄内銀が業務提携

仙台のIHCと

庄内銀行は25日、外国人材に特化した人材雇用コンサルティング会社のIHC(仙台市)と、「特定技能」の在留資格を持つモンゴル人材の紹介に関して業務提携したと発表した。

この提携により、同行は今後、特定技能の対象となる14業種で外国人材ニーズを持つ取引企業をIHCに紹介。それを受け、IHCは企業からニーズを詳しく聞き取り、適切な人材を紹介してオンラインや対面での面接の準備も担う。

IHCはソフトウェア開発などのエム・エス・アイ(山形市)の子会社。早くから外国人を正社員として採用してきた知見に基づき、モンゴル人社員のネットワークをフル活用したモンゴル人材紹介を前面に打ち出して事業展開している。特定技能は2019年4月に新設された在留資格で、人手不足に悩む介護やビルクリーニング、建設など14業種が受け入れ対象になっている。

(菅原武史)